

LGBTQ in なかの 多様な性、自分らしく生きる

2018年に始まった「中野区パートナーシップ宣誓」を知っていますか。同性のパートナーシップを応援する取り組みで、今年3月末までに49組が宣誓しています。

区は、多様な個性・価値観を受け入れるまちを目指しています。区内の多様な性で自分らしく生きる人に話を聞きました。

平和・人権・男女共同参画係 / 4階 ☎(3228)8229 FAX(3228)8860



▲性的マイノリティ当事者とそれを応援する人たちのスペース「LOUD(ラウド)」(中野3丁目)で

LGBTQ=レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性自認と体の性別が一致しない人)、クエスチョニング(どれに当てはまるかわからない、あえて決めない人)の頭文字で、性的マイノリティ(性的少数者)を表す言葉の一つです

大江さんと小川さんは宣誓第1号ですが、周りの反応はいかがでしたか

小川 第1号になったことが大きく取り上げられて、地域の人や趣味の活動の仲間に同性愛者であることが知られることになりました。不安もありましたが、地域の人に、「応援しています」と声を掛けてもらい、とても嬉しかったです

大江 私は宣誓した年に病気をし、手術を受けました。手術には万一の場合の同意書が必要ですが、宣誓したことを病院の方に説明したら、同性のパートナーが同意書にサインすることをすんなり受け入れてくれたんです。宣誓して良かった、と強く感じた瞬間ですね

山縣 ぼくも、昨年10月に36組目となる宣誓をしました。パートナーとは20年来的付き合いですが、将来のことを話し合ったり、老後に備えたりするきっかけになり、絆が深まりました

翁長 自分は同性のパートナーが

区外に住んでいるのですが、相手が区外で別居でも宣誓できるというですね

浅沼 自分は現在戸籍上は男性で、好きになるのも男性です。宣誓ができるようになり、選択肢が広がったと感じます

永野 効果は限定的ですが、同性カップルが確かに存在していて、保護に値するものであると自治体が公に認めたのは、非常に意義深いことですね

性的マイノリティの方が抱える問題について、どう感じていますか

翁長 性的マイノリティと一括りにいっても、いろんな方がいますね

大江 悩みはさまざまですが、差別や偏見を受け生きづらさを抱えている、適切な援助を受けにくいなど共通の問題があるように感じます

永野 恋人や結婚について周りから聞かれて職場にいづらくなり、仕事を辞めてしまって貧困の状態になる

ケースもよく聞きます

浅沼 自分はトランスジェンダーです。性自認と体の性別が違うことで、就職に苦労したり、公共施設や職場のトイレなどが使えず、困っている人が多いんです。実際に区内でもそうした問題が起きていますと聞きます。もっと理解されてほしいですね

みなさんが言われてうれしかったことや、逆に嫌だったことは

小川 このマンションの一室をLOUDとして借りる時、ご高齢の大家さんに「いろんな方がいて当然です。そういう方が困っているならぜひうちにどうぞ」と言ってもらえたんです。年齢にかかわらず、理解のある方がいることに助けられています

山縣 ぼくはイベントの宣伝などでメディアに出る機会も多いのですが、うれしかったのは近所の理髪店の方から「見たよ」とフレンドリーに言われたことですね

性的マイノリティ当事者の支援に関わる。LOUD代表

大江 千束さん



小川 葉子さん

大江さんのパートナー。LOUD副代表



中野LGBTネットワークにじいる代表。NPO法人東京レインボープライドの理事兼顧問

山縣 真矢さん



出生時の性別は女性で、現在は戸籍を変更し男性として生活。カラフル@は一と代表

浅沼 智也さん



精神疾患や発達障害などのあるLGBTQ当事者のための団体、カラフル@は一とのメンバー

翁長 祐太さん



弁護士としての性的マイノリティの相談や訴訟に関わる

永野 靖さん



翁長 仲間に当事者がいることを知らず、同性愛に批判的なことを言っている方を見たことがあります。職場や活動の仲間など、すぐ近くに当事者はいるんです。今回自分が紙面に出ることで、「自分の周りにはいない」と思っている人たちに存在を気付いてもらい、考えるきっかけになったらいいなと思っています

小川 同性愛は趣味なんだろう、というような無理解はつらいですね。誰にとっても大切な、生き方の問題なんです

一人で悩みを抱える方に、伝えたいことはありますか

大江 区内には性的マイノリティの当事者がたくさんいて、集まる場所もあります。安心して、まずはイン

ターネットなどで調べてみてください

小川 LOUDでは、月1回日曜日にオープンデイを開催しています。当事者ではなくても、それらに批判的な方であれば誰でも参加できます。対面に抵抗がある方は電話やインターネットでの相談など、さまざまな方法があるから心配しないで、と伝えたいですね

永野 区の性的マイノリティ対面相談を受託するNPO法人パープル・ハンズでも、当事者が集うサロンや電話相談などを行っていますよ

浅沼 カラフル@は一とでも、さまざまなイベントを行っています。当事者で、精神疾患や発達障害などがある方は、ぜひ問い合わせてほしいです

性自認と性的指向は、生き方の問題なんです



表紙の旗です

レインボーフラッグ
性的マイノリティを象徴する6色の虹の旗。カラフルな色合いは、多様性を表しています



下記の対面相談では、私も相談員の一人として相談をお受けします



中野区パートナーシップ宣誓とは

お互いを人生のパートナーとして相互に協力し合い、同居して共同生活を行うことを宣誓した同性の二人に宣誓書等受領証を交付する取り組み。

宣誓には要件があります。詳しくは、区HPをご覧ください。

性的マイノリティ対面相談「中野にじいる相談」を毎月実施中

日時 毎月第3火曜日 午後6時～8時
☆1人(組)当たり30分

会場 区役所1階専門相談室
☆事前申込制。仮名で申し込みできます

詳しくは区HPで

今回の座談会の全文や区の取り組み、区内の当事者団体についてご覧になれます。

